

コメント

1.手足口病

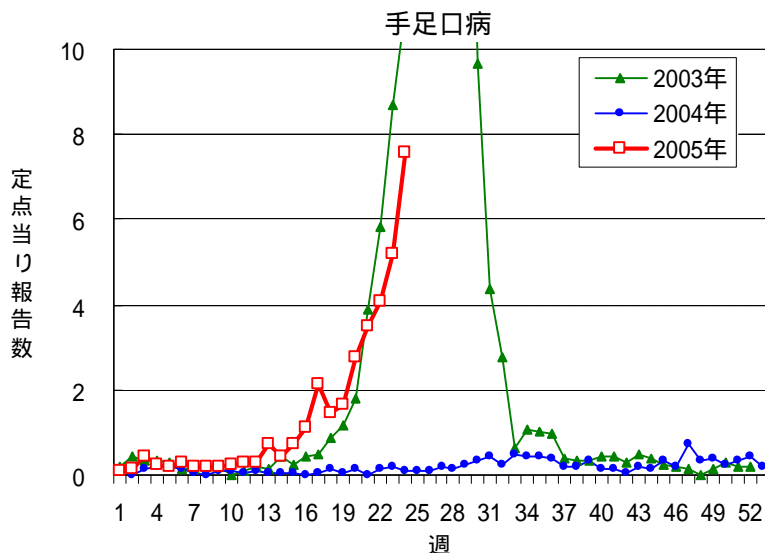
定点当り7.58人と増加しています。第19週以降、6週続けて増加しており注意が必要です。安芸区の19.5人をはじめ市内全域で多くなっています。

2.流行性耳下腺炎

定点当り2.71人とやや減少しています。安芸区では6.0人と特に多く、東区、安佐北区ともに4.3人、南区3.0人となっています。

3.咽頭結膜熱

定点当り0.71人と報告数は少ないものの、5月の後半から増加傾向になっています。夏の流行期に向けて今後の動向に注意が必要です。



5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均(注1) 過去5年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均(注1) 過去5年間	発生記号
インフルエンザ(注2)	14	0.38	0.01		麻疹(注3)	-	-	0.08	
咽頭結膜熱	17	0.71	0.38		流行性耳下腺炎	65	2.71	0.83	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38	1.58	1.49		RSウイルス感染症	-	-		
感染性胃腸炎	102	4.25	4.19		急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
水痘	53	2.21	2.03		流行性角結膜炎	6	0.75	1.18	
手足口病	182	7.58	2.73		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	14	0.58	0.43		無菌性髄膜炎	2	0.29	0.37	
突発性麻疹	21	0.88	1.08		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.23	
百日咳	5	0.21	0.04		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	1	0.04	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	5	0.21	2.48						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1)過去5年間の同時期平均(定点当り)
(注2)高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3)成人麻疹を除く
(注4)オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
5	急性脳炎	1	1	女性(30歳代)

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

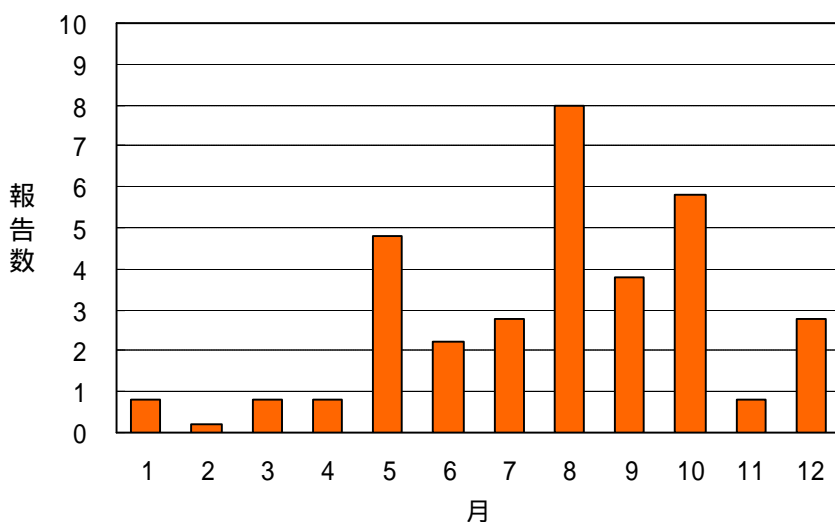
		インフル (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
報告数	広島市	第20週	83	8	28	130	41	67	14	14	1	-	-	76	-	2	4	-	3	1	-	-
		第21週	46	16	36	156	42	84	12	19	-	-	1	69	-	-	5	-	-	-	-	-
		第22週	17	13	39	151	37	98	14	21	1	-	8	103	-	-	5	-	5	1	-	-
		第23週	7	15	31	133	51	124	21	14	1	-	6	87	-	-	5	-	5	-	-	-
		第24週	14	17	38	102	53	182	14	21	5	1	5	65	-	-	6	-	2	-	-	-
定点当り	広島市	第20週	2.24	0.33	1.17	5.42	1.71	2.79	0.58	0.58	0.04	-	-	3.17	-	0.25	0.50	-	0.43	0.14	-	-
		第21週	1.24	0.67	1.50	6.50	1.75	3.50	0.50	0.79	-	-	0.04	2.88	-	-	0.63	-	-	-	-	-
		第22週	0.46	0.54	1.63	6.29	1.54	4.08	0.58	0.88	0.04	-	0.33	4.29	-	-	0.63	-	0.71	0.14	-	-
		第23週	0.19	0.63	1.29	5.54	2.13	5.17	0.88	0.58	0.04	-	0.25	3.63	-	-	0.63	-	0.71	-	-	-
		第24週	0.38	0.71	1.58	4.25	2.21	7.58	0.58	0.88	0.21	0.04	0.21	2.71	-	-	0.75	-	0.29	-	-	-
	全国	第22週	0.25	0.46	1.94	5.85	2.15	0.59	0.45	0.74	0.01	0.01	0.85	1.35	-	0.03	0.90	-	0.02	0.32	0.03	-
		第23週	0.14	0.53	1.85	5.20	2.66	0.80	0.51	0.78	0.01	0.01	1.39	1.25	-	0.03	0.88	0.01	0.06	0.31	0.02	-

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	3	男	2005/04/26	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
咽頭結膜熱	4	男	2005/05/11	咽頭拭い液	アデノウイルス1型
感染性胃腸炎	1	男	2005/05/03	糞便	ロタウイルス (A群)
感染性胃腸炎	9	女	2005/05/15	咽頭拭い液	ムンプスウイルス
無菌性髄膜炎 流行性耳下腺炎	3	男	2005/05/03	髄液	ムンプスウイルス

【参考】広島市における腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数 (2000年～2004年の平均)



気温が高く細菌が繁殖しやすい5月～10月にかけて報告数が多くなっています。

これからの本格的な夏に向けて、感染予防のために、次の点に注意しましょう。

1. 手洗いの励行
2. トイレなどの消毒
3. 食品の十分な加熱

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2005年第24週 (6月13日～6月19日)